

第46回「市民の皆さんとランチで対話」概要

団体名	上町「すみれ会」
開催日時	平成21年5月29日(金) 正午～午後1時
開催場所	市長応接室
出席者	上町「すみれ会」の皆さん 7人 (能代市：市長 他6人)
案件	空き店舗のアーケード対応と軒先再生、歩道改善等について 他
会議の概要	<p>(...上町「すみれ会」の皆さん ...市長 ...市職員等)</p> <p>・上町すみれ会...「上町九番観音堂」の継承に絡み、平成14年に女性部を立ち上げたのが発足のきっかけ。18年「のしろ白神ネットワーク」に加盟。「まち灯り」イベント等の共催や、子供達の「見守り活動」、「美化活動」等様々な協力などを得ながら、女性の視点からの活動を継続して進めている。</p> <p>1 『空き店舗アーケードの処理とその後の対応』について</p> <p>アーケードが老朽化して危険な状態である。</p> <p>現在残る部分は、解体ではなく、改修や「こみせ」・「軒」としての再生を考えている。市には、再建築に関して後押しをお願いできないか。</p> <p>「中央商店街」の老朽化アーケードについては、従来「改修」の話はなかった。今後は県や商店会とも相談していきたい。「こみせ」の再生に関しては、管理が県なので、手法として、「畠町大通りプロジェクト委員会」での総意で提案を出す方法と、各商店街が各々の将来像としてプランを提案する方法とが考えられる。</p> <p>例えば、「モデルケース」・「社会実験」のような形でできないか。</p> <p>国土交通省が一時期、試験的に行なったが、今は難しい。まずは、地域や商店会等から計画として要望してほしい。</p> <p>歩道の半分を「ウッドチップ舗装」にする等だけでも先に取り組めないか。</p> <p>これも、「プロジェクト委員会」等で、計画を出せば、市でも国・県に要望しやすくなる。</p> <p>2 『中央分離帯のウッドチップ花壇の整備』について</p> <p>庁舎前中央分離帯の花壇整備だが、できれば、職員も一緒に汗を流すなど市からも協力をいただきたい。</p> <p>「基本的な管理」は設置した側だが、一緒に作業するなど協力したい。今は、職員も市民目線で考えるようにしており、こういった提案を出してほしい。</p> <p>3 『「のしろまち灯り」を通した「木にこだわり」「環境に配慮した」まちづくり』について</p> <p>「のしろまち灯り」イベントで「エコバス(BDF燃料バス)」の運行を資金面の問題で断念した。その過程で、二ツ井の、BDF対応バスの利用を打診したが、故障の懸念の理由で断られた。「環境のまち」という意味で今後の方針はどうか。</p> <p>実際に、そのバスは故障が多かったため、使用を止めた経緯がある。</p>

国でBDFの規格品質基準を定めたので、徹底されれば、その方向に向かうと思う。ただ、廃植物油を回収し中友商事でBDF化する量は、現在月400㍓程で試験的である。今後状況を精査し、市での使用再開も考慮したい。

4 『旧湊城二小の耐震改善と利用方針、美化活動』について

旧湊二小の耐震強度はどうか。

強度不足は、体育館と現在教育事務所がある入口付近の棟で、会議室がある教室棟は安全である。

体育館は「解体」の方向で検討。入口付近の棟は今後検討予定である。

美化活動は、なるべく費用をかけないように、「常盤ときめき隊」の協力を得ながら、育苗からしている。市民体育館花壇も手入れしているが、雑草対策が大変である。全体的に市の除草作業回数も減っているようで、雑草の伸びが目立つ。

市管理の施設等も数・箇所が多く手が回らない状態である。

その他

「防災備蓄」に関し、「ハイゼックスシート(炊飯袋)」の備蓄についての提案があった。